

## 平成 27 年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、「日立市かみね公園」エリアを中心に、公園内に立地する 2 つの遊戯施設における遊具の運行及び飲食、販売事業の展開のほか、来訪者に「かみね公園」の四季折々の魅力を味わっていただくべく、各種イベント等の実施に取り組んでいます。

さらには、日立市が所有する健康増進施設である「日立市ホリゾンかみね」と「日立市かみね市民プール」及び観光施設である「奥日立きららの里」についても平成 18 年度から継続して指定管理者として管理運営を行ってきています。

本協会は、これら 5 つのレジャー施設の運営等を通し、日立市民をはじめ、近隣からの多くの来場者に憩いの場を提供することで地域活性化への寄与に努めています。

平成 27 年度は、3 年間の計画である「中期経営計画 2014」の 2 年度目にあたり、当該中期経営計画及び平成 27 年度事業計画に基づき、広報宣伝活動、施設整備や各種イベント開催等の諸事業を展開し、利用者数、収益ともに、ここ数年では高水準を確保することができました。

また、前年度からの継続事業である遊園地事務所建て替えについては、工事が順調に進捗して、平成 27 年 4 月末に完成し、稼働を始めました。

### I 事業内容

#### 1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「レジャーランド」及び「ゆうえんち」、さらには日立市から受託している「日立市ホリゾンかみね」と「日立市かみね市民プール」及び「奥日立きららの里」の運営事業のほか、各種イベントの開催や来場者サービス及び受託施設における各種教室等の自主事業を展開し、市民を中心とする近隣住民の皆様の生活の潤いづくりへの寄与に努めました。

## (1) かみね公園の事業

### ア かみね公園全般の事業

園内で開催する各種催事は、日立市や関係団体と連携して事業展開しました。

代表的な催事として、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園・平和通りを中心に今年で 53 回目の開催となった日立さくらまつりのかみね公園会場運営の一部を担いました。開催期間中の桜のライトアップ、混雑防止のための交通誘導警備員の配置のほか、協力事業としてレジャーランドにおいてのキャラクターショーやのりもの乗り放題デー等を開催しました。来園者が最も多く見込めるゴールデンウィークには、かみね公園ちびっこまつりを開催し、レジャーランド内におけるキャラクターショーやのりものタイムサービス等を実施するほか、園内無料シャトルバスの運行、交通誘導警備員の配置を行いました。日立市の夏の風物詩であり 58 回目の開催となった夏の日立あんどんまつりにおいては、期間中の園内ライトアップ、市内子どもたちを中心としたヒップホップダンス、市内外からの常陸よさこい、阿波踊り、フラダンス、タヒチアンダンス等の諸団体（12 団体約 500 名の参加）による踊りの祭典、市内の子どもを対象とした子どもあんどん絵画コンテスト（245 点の応募）のほか、日立市直営である動物園の協力による夜の動物園、レジャーランドとゆうえんちの夜間営業など各種イベントを開催しました。

その他、かみね公園秋まつりやかみね公園正月まつりなど、1 年を通して各種イベントを開催することにより、公園全体の魅力づくりを図りながら憩いの場の提供に努めました。

### イ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の大型遊戯施設を有する遊園地であり、低廉な料金でのりものを利用できる乗り放題デーやタイムサービス等を各まつり期間中に実施しました。合わせて、キャラクターショー（年間 11 回開催）の開催や、本協会のオリジ

ナルキャラクター着ぐるみによる利用者サービスのほか、入園無料期間を設けました。以上のように、各種イベントの開催や大型遊戯施設を備える遊園地の運営を通し、地域住民が身近で遊園地を利用できる環境を十分に享受していただけるよう、より親しまれる施設づくりに努めました。

#### ウ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設されており、比較的低年齢層の来園者が多い施設です。開催するイベントも利用者層に合わせた3世代ファミリー観覧車無料乗車券のプレゼント、七五三時期の千歳飴プレゼント、動物園とタイアップした夏のカブト虫とその仲間たち展、秋のバッタ展や冬の動物園&ゆうえんちまつり等を開催しました。「ゆうえんち」の運営にあたっては、来園した幼児・児童等が家族や友人とのふれあいや思い出づくりの機会を提供することを主眼としており、子どもたちの健全な成長に寄与することに努めました。

### (2) 受託事業

「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の3施設は、平成18年度から日立市の指定管理者制度の導入により、本協会が3年ごとの指定期間で継続的に指定されております。平成27年度は新たな3年間の指定期間の1年目であり、日立市の意向を十分に踏まえつつ、利用者増に努め、主体的に管理を行いました。

#### ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえて、市内外の方々に自然に親しみ、自然とふれあう場として広く利用していただけるよう、施設の管理を行いました。施設の特性を活かして、春まつり、秋まつり、世界のクワガタ・カブトムシ展、ホテルの観賞会やレクリエーション大会、ランニングフェスタ等を開催しました。

#### イ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設として市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえて、管理運営を行いました。施設内にトレーニングルームや浴室を備えていることから、それらを活用した自主事業としてエアロビクス教室、ピラティス教室等を開催しました。

また、1階ロビーの一部をギャラリーとして市民に開放し、写真展、絵画展や魚拓展等を開催しました。

#### ウ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえて、管理運営を行いました。市民プールにおいては、自主事業として水泳教室、水中エアロビクス教室及び水中ウォーキング教室を開催し、利用者増に努めました。

## 2 収益事業【販売事業】

かみね公園内及び奥日立きららの里内等における便益事業として、施設内において物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

### (1) 施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業においては、収益増を図るための類似施設の売れ筋商品の調査、オリジナル商品の開発及び市内業者との連携、既存商品にとられることなく、積極的な新規メニューやオリジナルメニューの開発、季節ごとのメニューの追加を実施しました。

出店事業においては、日立市池の川運動公園売店を中心に各種イベント開催時の出店を行い収益を確保しました。

### (2) カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、比較的大型のゲーム機を10機種ほど設置し、コーナーを設けて運営しました。利用料金は100円から200円で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

### (3) プレイランド運営事業

一般的なゲームコーナーであり、レジャーランド内において、100円から200円の投入式ゲーム機及び定置式のりものを6機種ほど設置し運営しました。

## II 管理施設の利用状況及び売上実績

### 1 利用状況

#### (1) かみね公園

(単位：人)

区 分	遊園地	レジャーランド	市民プール	ホリゾン	合 計
27年度	359,480	64,082	67,109	78,317	568,988
26年度	356,381	59,863	67,218	73,548	557,010
増 減	3,099	4,219	△ 109	4,769	11,978

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数

#### (2) きららの里

(単位：人)

27年度	72,209
26年度	62,518
増 減	9,691